

環境経営レポート

淀川変圧器株式会社

2024 年度

(対象期間 2024 年4月1日～ 2025 年3月31日)



発行日： 2025年4月23日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
環境経営組織及び役割・責任・権限	5
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画	6～9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10

ごあいさつ

淀川変圧器は、1965年の設立以来、受変電設備や変圧器、その他電源機器を商品群としてそろえ、各種インフラ設備の電源設備更新工事や、大型建築・土木工事における仮設受電需要へのレンタルサービスを中心に据え、あらゆる電源設備の維持管理を下支えしてまいりました。

メーカーである淀川変圧器のレンタルサービスにおいて、製品のあらゆる構成機器を適切にリユースすることは核心の一つであり、それには高度な品質管理能力が求められます。機器の整備、保管、検査の各プロセスにおいて、長年にわたり培った技術とノウハウをお客様目線で反映することによって、安全・安心の製品提供と、同時に機器のリユースが環境負荷の低減を実現しております。

世界的に環境への関心が高まり、企業にその実行力が求められるなか、淀川変圧器は培った技術力で品質の維持向上はもとより、更なる環境意識の向上をはかり、環境に配慮したモノづくりとサービスの提供を推進すべく、ここに宣言いたします。

環境経営方針

淀川変圧器株式会社は、本業であるキュービクルの製作・レンタルを通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

お客様に喜んでいただける商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギー等により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制につとめます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 化学物質使用量の適正管理に努めます。
6. 環境に配慮した工事、製品・サービスをお客様にお届けします。
7. 高品質な製品づくりで経済成長に貢献します。
8. 地域や関係団体の環境活動・社会貢献に積極的に参加します。



制定日：2022年6月15日

改定日：2024年6月3日

代表取締役社長 大久保 章

組 織 の 概 要

(1) 名称及び代表者名

淀川変圧器株式会社
代表取締役社長 大久保 章

(2) 所在地

本社 大阪府大阪市西区西本町1丁目4番1号 オリックス本町ビル
東京支店 東京都品川区北品川五丁目5番15号 大崎ブライトコア
中部支店 愛知県名古屋市中区錦2-9-29 ORE名古屋伏見ビル
九州支店 福岡県福岡市博多区博多駅中央街7-21 紙与博多中央ビル
関西工場 兵庫県尼崎市御園1丁目19番1号
池田倉庫 大阪府池田市豊島南1丁目7番10号
豊中ヤード 大阪府豊中市走井2丁目191番5号
関東工場 神奈川県小田原市前川153番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 購買資産管理グループ 班長 田中 利幸 TEL : 06-6415-6640
関東工場管理責任者 業務グループ グループ長 中庭 雅幸 TEL : 0465-48-8855
担当者 業務部 二宮 真由美 TEL : 06-6415-6640

(4) 事業内容

受変電・発電設備機器・各種変圧器・キュービクルの製造、レンタル、販売、電気工事

(5) 事業の規模

生産面数 2,204 面

	本社	東京支店	中部営業所	九州営業所	関西工場	池田倉庫	豊中ヤード	関東工場	合計
従業員 名	43	23	4	2	106	0	0	22	200名
延べ床面積 m ²	289	65	6	6	19,004	2,740	2,555	1,666	26,331m ²

(6) 事業年度

4 月 1 日 ~ 3 月 31 日

(7) 建設業 許可

許可番号：大阪府知事 許可(特-4) 第 146604号
有効期間：令和5年3月31日から令和10年3月30日まで

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 淀川変圧器株式会社

対象事業所 本社

東京支店
中部支店
九州支店
関西工場
池田倉庫
豊中ヤード
関東工場

活動：受変電・発電設備機器・各種変圧器・キュービクルの製造、レンタル、販売、電気工事

□事業の紹介

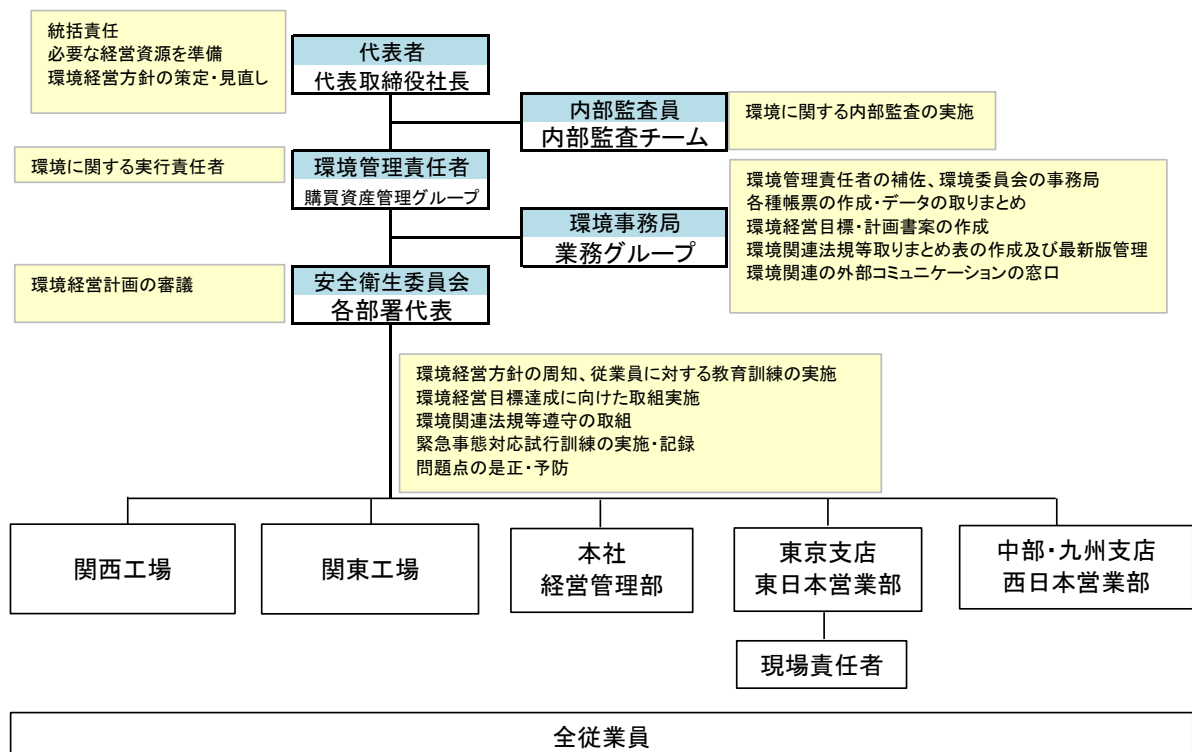
・レンタル オーダーメイドキュービクル
標準キュービクル
変圧器 など

・新品販売 オーダーメイドキュービクル
標準キュービクル
変圧器 など

・中古品販売 オーダーメイドキュービクル
標準キュービクル
変圧器
部品単体 など



環境経営組織及び役割・責任・権限



環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚

参照元
かわいいフリー素材集いらすとや
(<https://www.irasutoya.com>)
作業員のリーダーのイラスト(女性)
作業員のリーダーのイラスト(男性)
リーダーのイラスト(女性)

主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	221,924	211,957	224,328
Scope1 (化石燃料)	kg-CO ₂	10,500	8,831	9,577
Scope2 (電力)	kg-CO ₂	211,424	203,126	214,751
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	1,540	1,087	1,460
産業廃棄物排出量	kg	329,986	241,454	286,049
水使用量	m ³	763	665	701
※電力の二酸化炭素排出係数 (調整後)		0.535	0.535	0.535
		オリックス電力	オリックス電力	オリックス電力
採用年度		2020年度	2020年度	2020年度

kg-CO₂/kWh

※2023年5月にオリックス電力から関西電力に変更したが、CO₂排出量が比較できなくなるため二酸化炭素排出係数はオリックス電力2020年度を継続使用した。

環境経営目標及びその実績

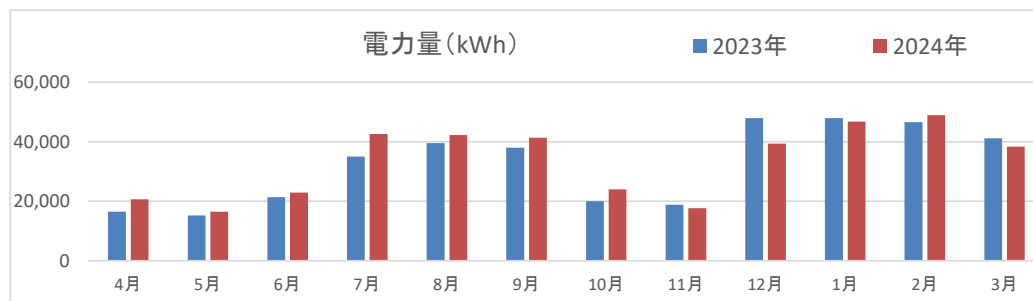
項目	年度	基準値	2024年		評価	2025年	2026年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	203,126	199,063	214,751	×	197,032	195,001
	基準年度比	2023年	98%	106%	-	97%	96%
	原単位						
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	8,831	8,654	9,577	×	8,566	8,477
	基準年度比	2023年	98%	108%	-	97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	211,956	207,717	224,327	×	205,598	203,478
産業廃棄物の削減	kg	241,454	236,625	286,049	×	231,796	226,967
	基準年度比	2023年	98%	118%	-	96%	94%
一般廃棄物の削減	kg	1,087	1,065	1,460	×	1,043	1,021
	基準年度比	2023年	98%	134%	-	96%	94%
紙使用量の削減	枚	674,470	660,981	702,110	×	647,491	634,002
	基準年度比	2023年	98%	104%	-	96%	94%
水道水の削減	m ³	665	652	701	×	638	625
	基準年度比	2023年	98%	105%	-	96%	94%
化学物質の適正管理	行動目標(次項による)						
環境に配慮した製品・サービスへの取組	行動目標(次項による)						
課題を解決しチャンスを活かす取組	行動目標(次項による)						

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標: ○達成 ×未達成

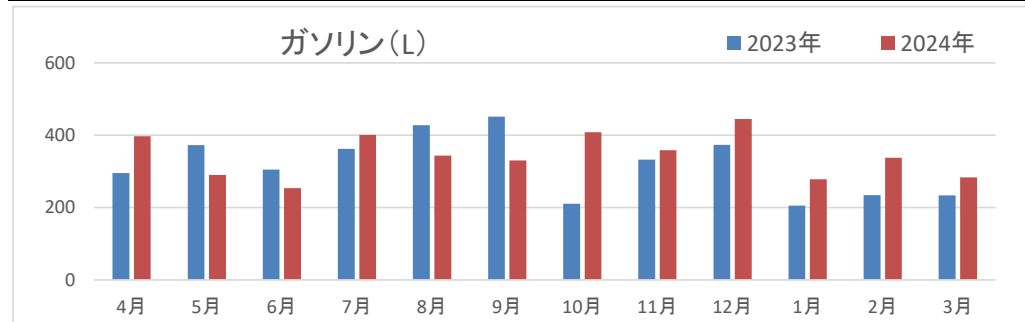
活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	昨年度比106%で消費電力を低減できず、98%の目標を達成できなかった。生産量増大による工場稼働時間の増加が原因と考えられる。生産方法の改善については今期3件実績ができた。引き続き取り組みを継続する。今期生産量UPのために工場レイアウトを変更し、来期は消費電力が増加する見込みであるが、低減の活動を継続して実施する。3月に工場棟にシートシャッターを設置し、外気侵入による熱損失を防ぐ対策を実施した。
・生産方法の改善による時間短縮	○	
・外気進入による熱損失を防ぐ	○	
・エアコン設定温度の調整	○	
・圧縮空気圧力を下げる(0.65MPa)	○	
・不要照明の消灯	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	16,535	15,184	21,386	34,996	39,508	37,972	19,993	18,835	47,984	47,984	46,614	41,170
2024年	20,613	16,531	22,896	42,639	42,282	41,386	24,022	17,641	39,335	46,794	48,928	38,336

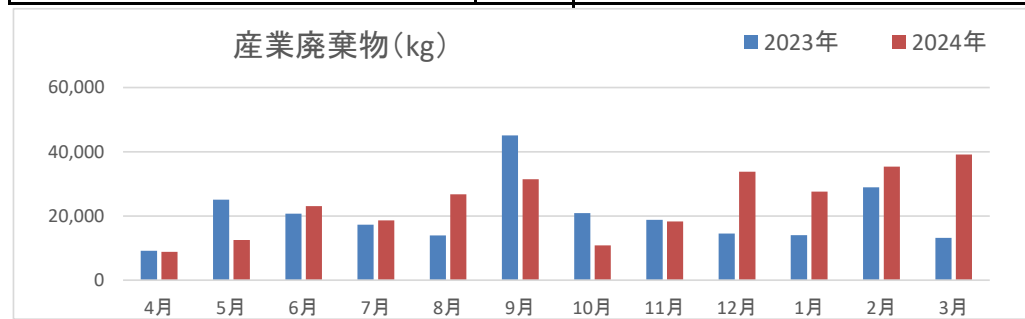
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	2023年10月にガソリンエンジンの社用車を廃止し、全車ハイブリッド車を導入している。前年度比108%とガソリン消費によるCO2を低減できず、98%の目標を達成できなかった。今期、大型案件受注により出張回数が多かったことが原因と考える。来期は、エコ運転によりガソリン消費を抑える活動を継続する。
・エコドライブの実施	○	
・効率的なルート設定	○	



出張用の社用車には、ハイブリッド車を採用し、ガソリン消費削減をおこなっている。

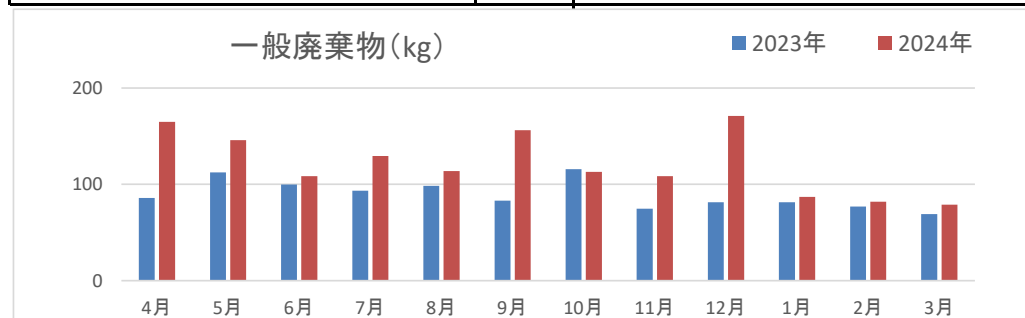
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	296	373	305	362	428	452	211	333	374	206	235	234
2024年	397	291	254	401	343	330	408	359	445	278	338	284

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	前年比118%と廃棄量を削減できず、98%の目標を達成できなかった。生産面数増加に伴い、新品部品購入量が増加したことが原因と考える。来期は、生産量が増加するのでより資産品の扱いを丁寧に行い廃棄削減に努める。
・資産品の扱いを丁寧に廃棄を削減する	○	



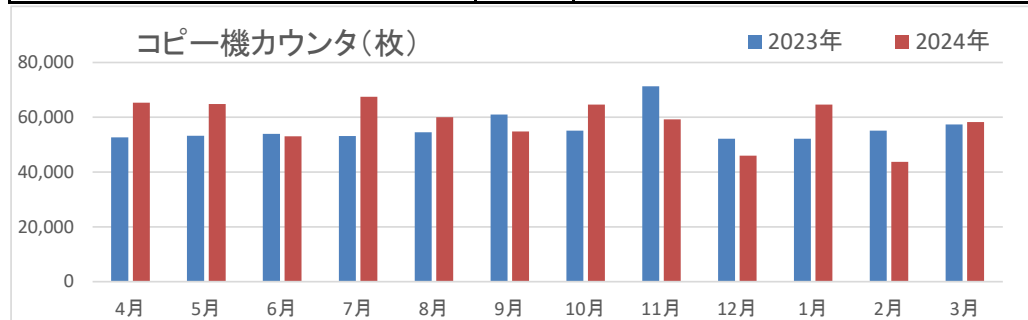
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	9,139	25,057	20,753	17,242	13,911	45,118	20,914	18,765	14,507	14,017	28,894	13,137
2024年	8,805	12,467	23,036	18,644	26,716	31,423	10,810	18,273	33,777	27,617	35,370	39,111

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	累積で130%と削減できず、98%の目標を達成できなかった。来期は、簡易包装品の優先購入の呼びかけを強化する。
・ゴミ削減の呼びかけ	○	



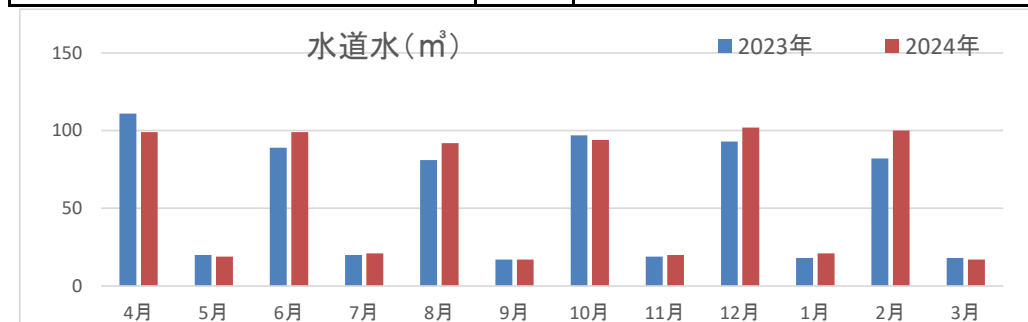
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	86	112	100	93	99	83	116	75	82	82	77	69
2024年	165	146	108	129	114	156	113	108	171	87	82	79

紙使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	前年度比104%となり、98%の目標を達成できなかった。
・裏紙利用、集約印刷の利用の呼びかけ	○	継続して取り組み経過観察する。
		生産面数増加に伴い紙の使用数が増えるので、引き続き裏紙利用、集約印刷の呼びかけを行う。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	52,635	53,299	53,963	53,147	54,563	61,018	55,117	71,269	52,204	52,204	55,085	57,328
2024年	65,277	64,815	53,014	67,473	60,033	54,865	64,684	59,286	45,987	64,672	43,696	58,308

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	前年度比105%となり、98%の目標を達成できなかった。
・節水呼びかけと節水シール貼り付け	○	工場勤務人数の増加に伴い、水の使用料が増えるので、引き続き節水の呼びかけを行う。
・漏水確認の実施	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	111	20	89	20	81	17	97	19	93	18	82	18
2024年	99	19	99	21	92	17	94	20	102	21	100	17

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・有害性物質の表示の徹底	○	管理を実施できた。



環境に配慮した製品・サービスへの取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・塗装不要な亜鉛メッキ仕様の製品拡大	○	亜鉛メッキ仕様の標準キュービクルを製品化し順次拡大中。塗料削減に貢献している。来期も、亜鉛メッキ仕様の標準キュービクルの調達を行い、塗料削減の取り組みを行う。
・設置工事では、環境配慮型の重機を使用	○	



課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・事業継続、拡大のための人材確保	○	業績拡大に伴い、必要な人材確保のため採用活動を継続的にこなっている。2025年4月、工場に6名が入社した。5月には実習生3名の入社も内定している。



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

環境関連法規制等名称	該当する設備・項目
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
騒音規制法	圧縮機(7.5kW未満)
振動規制法	圧縮機(7.5kW未満)
フロン排出抑制法	業務用空調機の簡易点検、定期点検
化学物質排出把握管理促進法	塗料関係の適正管理
労働安全衛生法	SDS義務、リスクアセスメント
消防法（危険物）	危険物の保管
家電リサイクル法	テレビ、冷蔵庫

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

苦情はありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2025年4月15日

環境負荷低減に関する各種取り組みを実施したが、受注量の増加に対応するため関西工場製造部署の稼働時間が昨年度比 約1.2倍になっており、取り組み成果に対する評価が困難であった。
現在実施している製造エリア拡大工事が来年度に完成予定であり、さらに積極的に社員採用を進めているため、環境負荷が大きくなるが見込まれます。
来年度以降は、生産量や人数などの「原単位」で環境負荷を評価できる仕組みをつくり運用すること。
内部監査については、全事業所間で相互に実施できました。監査者、被監査者が固定メンバーにならないよう配慮してください。
その他の項目についても継続して取り組み、エコアクション21の活動を通じてカーボンニュートラルやSDGsの課題に向けて全社を挙げて取り組みを行います。

環境経営方針

環境経営目標・計画

実施体制他

☒ 変更なし

☒ 変更なし

☒ 変更なし

☐ 変更あり

☐ 変更あり

☐ 変更あり

通期で取組んだ結果を来期の計画に反映させる